

多読クラブ会員の皆様へ

書籍追加のお知らせ（2008年2月）

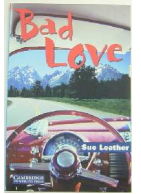
● Blog Love YL:1.5

ロンドンに語学留学しているジュンコは友達がいないので、ネット・カフェでブログに日記を書き込む毎日。そんな彼女のブログに日本に語学留学している男の子から初メールが届きます。一方、ネット・カフェのオーナー、シェフもジュンコにアプローチしてきて…。英語を学習中であるジュンコのブログの形式なので、難しい文も単語も出てきません。読み易いです。



●Bad Love YL:1.4 総語数 3,700 (CER1)

Denver 警察の女性刑事 Flick は同僚の Judy の家でのパーティでハンサムな若い医者 Jack Daly に出会い再会を約束する。しかし、その4日後、Jack Daly は死体で見つかる。自殺なのか他殺なのか、他殺ならば動機は何で犯人は誰なのだろうか Flick の捜査が始まる。



Black Cat Readers が 15 冊入荷です。Black Cat Readers は章と章の間に確認問題や Glossary (単語解説) が入っています。気にせず飛ばして読んでください。Glossary はレベルによっては役立つかもしれません。

Earlyreads シリーズの 10 冊。すべて YL1.0 以下で絵が多く、絵本、マンガという感じです。

●Bugaboo YL:0.6 総語数 300

これは、意地悪でアホなんだけど、害の無い魔女のお話です。



●Monster in the Box YL:0.6 総語数 300

年齢のわりに体の小さいボボは学校でいじめにあう。でも若くて賢い彼なら大丈夫。

●The Mad Teacher YL:0.7 総語数 500

一風変わった教師は多いが、この英語教師はかなり変である。

●Mowgli Learns to Swim YL:0.7 総語数 300

Mowgli は森でトラに出会った時、川を渡って逃げるには、泳ぎをおぼえなければならぬと気がつく。さて泳げるようになるのか？

●The Magic Computer Mouse YL:0.8 総語数 400

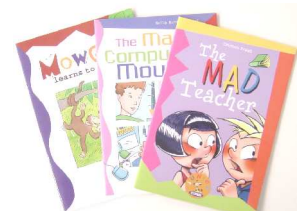
英語の得意な Martin はロンドンのペンフレンドに会いに行く。飛行機もバスも電車も使わず、コンピュータを使ってたどり着きます。

●Space Monsters YL:0.8 総語数 400

全ての宇宙人が悪者とは限らないが、親切な宇宙人と友達。。。ていうのもなんだか。

●The Jungle Book YL:0.7 総語数 400

Mowgli が狼の家族とともに成長する姿が描かれています。



●Two Monsters YL:1.0 総語数 700

健康おたくの男の子と、ジャンクおたくの男の子が要求レベルの高い家庭のなかで、いかに一緒に生活できるのか？

●Zed the Magician YL:0.9 総語数 700

Zed というマジシャン、勇敢な生徒、そして犯罪が関係する快活ミステリー。



●The Canterville Ghost YL:0.9 総語数 700

ご存知オスカー・ワイルドの作品ですが、GR とはだいぶ趣向が異なりますね。

Reading and Training シリーズの Step3 が 5 冊。

●Duck Soup YL:2.5 総語数 11,000

人の心の変化のさまを綴った短編集。

●Treasure Island YL:3.5 総語数 11,600

ご存知「宝島」。乗組員たちが虎視眈々と宝物をねらう。

●Alien at School YL:3.5 総語数 7,900

高校生活がスタート。でも何かが変。

●Bizarre Tales YL:3.5 総語数 13,800

摩訶不思議で奇妙な話を 5 話収録。

●Julius Caesar YL:3.5 総語数 10,900

シーザー暗殺。人々の思惑が交差する。

●Jonathan Livingston Seagull a Story YL:4.5 総語数 8,700

かもめのジョナサンは飛ぶということをとことんまで追求したい不思議なかもめ。食べることや寝ることに忘れて追求するうちに、仲間からみはなされるけれど、何かを掴んでいく。写真がふんだんにあって、語数の少ない、でも考えさせるところの多い本。ちょっと哲学的か。巻末には単語の日本語解説あり。

●Big Fat Cat and the Snow of the Century YL:2.5 総語数 9,200

Big Fat Cat シリーズ最終話。クリスマス。雪景色のゴーストアベニューでもささやかなクリスマスパーティが開かれた。パイ職人のエドは、自分の決心を伝えるべくニューモールへ行ったのだが、上機嫌のオーナーの勢いに飲まれて、何も言えずに帰ってきてしまった。外は吹雪。エドは Big Fat Cat がいないことに気がついた。フランクが持っていたポスターを見て事実を知ったエドは、仲間の制止を振り切って、Big Fat Cat を捜しに再び街へ向かった！ この最終巻は文法解説のページが無いので、読む量が多いですよ。

ペンギンのレベル5に 3 冊追加です。

●Four Weddings & Funeral YL:5.0 総語数 19,000 (PGR5)

(コメディ) 1993 年に作られた映画の retold 版である。Charles は魅力的な男であるがいつも遅刻ばかりしている。つぎつぎに友達の結婚式によばれるが、自分の結婚については何も考えていない。ある日 Charles はアメリカ女性の Carrie に一目惚れしてしまう。彼は Carrie と一夜を過ごすが、恥ずかしがりやで優柔不断な彼は次の約束をすることもないまま、二人は別れ別れになってしまう。次にあったとき、Carrie はすでに婚約者がいる。そうして Charles もようやく昔のガールフレンドと結婚を決意する・・・

●Jane Eyre YL:5.0 総語数 46,000 (PGR5)

10 歳で両親と死別したジェーン・エアはおばの家に引き取られるが、過酷な待遇を受けやがて寄宿学校へ入れられる。卒業後家庭教師としてある屋敷に赴く。やがてその屋敷の主人ロチェスターと恋に落ちるが、実はロチェスターには屋敷の奥深くに隠している発狂した妻がいた。ジェーンはロチェスターとの結婚式の当日にその事実を知り、黙って屋敷を出ることを決意する。

●The Firm YL:5.0 総語数 20,000 (PGR5)

ハーバード・ロースクール出の新人弁護士 McDeere は、若者らしい希望と野心をもってある法律事務所に入ります。しかし、そこではすでに 5 人の弁護士が不審な死をとげていて・・・。登場人物が多いので、メモをとりながら読んだほうがいいのかもかもしれませんが、話の筋は明快です。後半、一気に何かに話が展開し、スピーディーに最後までつれていかれた、というおもしろさ。

